

東京港臨海道路（東京ゲートブリッジ） （中央防波堤外側埋立地～江東区若洲）が 平成24年2月12日に開通します

記者発表資料

このたび、東京港臨海道路（Ⅱ期事業区間）が開通することとなりましたのでお知らせします。

○開通日 平成24年2月12日（日）

○開通区間 中央防波堤外側埋立地～江東区若洲
延長約4.6km

※うち橋梁部(約2.6km)：東京ゲートブリッジ

※ 平成24年2月11日（土）に、開通式を行います。
詳細につきましては、後日お知らせいたします。

<期待される効果>

○主要幹線道路へのアクセスが向上し、物流の効率化が期待されます。

⇒中央防波堤外側埋立地～江東区若洲間の所要時間→約4割短縮

○東京港内の交通渋滞の緩和が期待されます。

⇒青海縦貫線への流入交通量→約3割減少

国道357号（江東区有明～江東区新木場間）への流入交通量→約2割減少

（同時発表記者クラブ）

国土交通記者会
都庁記者クラブ
竹芝記者クラブ
横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会

（問い合わせ先）

◇国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所
副所長 ^{ほし こういち} 星光一、総務課長 ^{いとう ようじ} 伊藤 洋二
【電話】（直通）03-5534-1360

◇東京都 港湾局 港湾整備部
整備調整担当課長 ^{いしざき ひろし} 石崎 博
【電話】（直通）03-5320-5621
（都庁内線）43-517

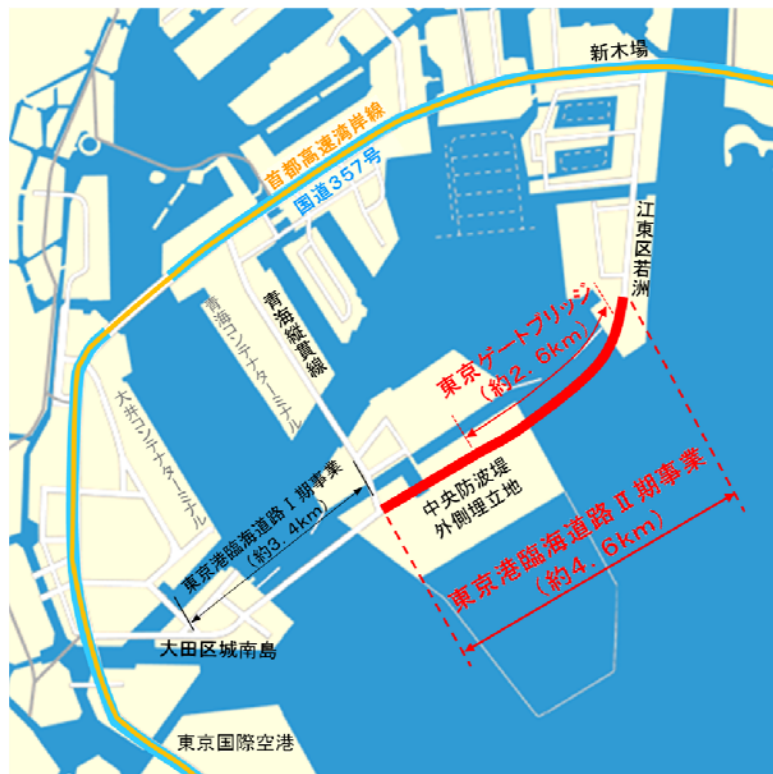
東京港臨海道路Ⅱ期事業の概要

○東京港臨海道路Ⅱ期事業は、増大する東京港の物流の円滑化を図るとともに、臨港道路（青海縦貫線等）や臨海部周辺道路（国道357号等）で発生している混雑を緩和し、背後圏とのアクセス向上による物流の効率化及び物流コストの削減を目的として、平成14年度より臨港道路の整備を進めている事業です。

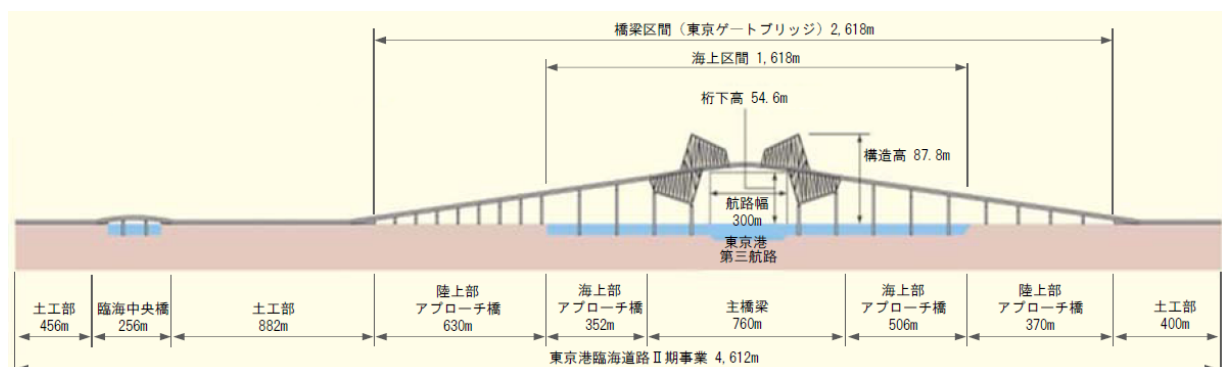
○今回開通区間の概要

- ・開通区間：中央防波堤外側埋立地～江東区若洲
- ・延長：約4.6km（うち橋梁部約2.6km（東京ゲートブリッジ））
- ・事業期間：平成14年度～平成23年度
- ・事業費：約1,125億円
- ・車線数：往復6車線（橋梁部：往復4車線）
- ・事業経緯：昭和63年港湾計画決定、平成14年度事業化、平成15年度工事着手

○位置図



○全体図



東京ゲートブリッジの概要

○橋梁の概要

- ・橋名：東京ゲートブリッジ（※）
- ・所在地：中央防波堤外側埋立地～江東区若洲
- ・構造形式：（主橋梁部）連続トラス・ボックス複合構造
（アプローチ橋梁）連続鋼床版箱桁
- ・橋長：2,618m（うち主橋梁部 760m）
- ・橋梁高さ：A.P.+87.8m
- ・航路限界高：A.P.+54.6m
- ・橋梁重量：約36,000トン（うち主橋梁部 約20,000トン）
- ・幅員構成：往復4車線及び歩道（都心側のみ）
- ・通行料金：無料

※橋名「東京ゲートブリッジ」は、平成22年11月に一般公募の結果により決定している。（応募件数：12,223件）



写真：東京ゲートブリッジ（若洲側より）



図：歩道部完成イメージ

- 歩道部の通行について
歩行者は、若洲側昇降施設より橋上の歩道部へ昇ることが出来ます。